

WAKAYAMA AZALEA ROTARY CLUB



Weekly Report

VOL. 14 No. 31 TOTAL 593 平成24年3月12日 第611回例会

[例会日] 毎週月曜日 12:30~13:30
 [例会場] 和歌山市湊通り丁北2-1-2 アバローム紀の国
 [事務局] 和歌山市雑賀屋町52 南方ビル2階 (〒640-8249)
 TEL073-435-3470/FAX073-435-3472
 E-mail: wa-az-rc@naxnet.or.jp

会長/後和 信英 [会報委員] ○宮本 和彦
 副会長/西田美恵子 ○南方 孝一 田邊 和喜
 幹事/小形みちる 足立 聖子 松本 博



2011-12年度
国際ロータリーのテーマ

こころの中を見つめよう 博愛を広げるために

R I 会長 カルヤン・パネルジー

2011-12年度
アゼリアロータリーのテーマ

おもう
『ロータリーの原点を回想』

＜本日の例会＞

■第611回例会 3月12日(月)
 ☆外部卓話「マスコミがやってきた」
 毎日新聞和歌山支局
 支局長 嶋谷泰典様 (和歌山南RC)

＜次回のお知らせ＞

■第612回例会 3月19日(月)
 ☆内部卓話 澤 耕司会員
 「地方におけるタクシー・バスの役割と被災地支援」

＜前回の例会記録＞

■ロータリーソング 花
 ■ゲスト紹介
 ■ビジター紹介
 ■出席報告 会員数35名 内出席免除2名
 本日の出席(3/5) 25/34名 73.52%
 前々回修正出席(2/20) 30/35名 85.71%
 ■メイキャップ 役員及びクラブ行事へ 4名

＜四つのテスト＞

言行はこれに照らしてから

- I. 真実かどうか III. 好意と友情を深めるか
 II. みんなに公平か IV. みんなのためになるかどうか

●市内9ロータリークラブ例会情報

クラブ名	日時	内容
和歌山北	3月12日(月)	クラブフォーラム「第3回I.D.M.発表」
和歌山	3月13日(火)	ハットクイツナツハロータリークラブ訪問報告
和歌山サンライズ	3月13日(火)	
和歌山東南	3月14日(水)	IDM発表③
和歌山西	3月14日(水)	平清盛と熊野 ~ご家族参加Day♪~
和歌山東	3月15日(木)	「ロータリーの友」事務所より取材
和歌山城南	3月15日(木)	外部卓話「台風12号災害対応について(仮題)」
和歌山南	3月16日(金)	第3回I.D.M.発表
和歌山中	3月16日(金)	クラブフォーラム

○会長報告



会長 後和信英

皆様こんにちは、先週3月3日は、雛祭り(ひなまつり)でした。先週、デパートに行った時、そのコーナーを見ました。プリンセス雛人形とでもいうのか、「男雛」様はイケメン、「女雛」様はまつ毛をつけてお目目パッチリ、リカちゃん人形の様でした。昔は、お雛様のかしら「頭」につけまつ毛なんて考えもつかなかったですが、玩具感覚になってきた、近頃のお雛様事情を感じました。

それでは、次に米山記念奨学生のお世話をアゼリアで受け入れることに、理事会で決まりました。そこで、ロータリー米山記念奨学事業について、和歌山アゼリアRCとしての考え方を今一度皆様に、ご説明させていただきます。

ロータリー米山記念奨学事業とは、全国のロータリアンからの寄付金を財源として、日本で学ぶ私費外国人留学生に奨学金を支給し、支援する国際奨学事業です、ここが重要なのですが、将来、日本と世界とを結ぶ「架け橋」となって国際社会で活躍し、ロータリー運動の良き理解者となる人材を育成することが事業の使命であり目的です。

その歴史は50年以上前にさかのぼります。平和を愛し、青少年に手をさしのべた“ロータリーの父”米山梅吉氏の遺徳を記念する事業として1952年から始まりました。

今回、世話クラブとして和歌山アゼリアRCは、米山奨学生には、ロータリーの会員と積極的に交流していただき、相互理解を深めると同時に、ロータリーの奉仕の心を学んでいただきたいと思います。以上が、ロータリー米山記念奨学事業に対する当クラブの考え方です。以上のことをご理解いただき、奨学生をお預かりいたしますので会員皆様のご協力をよろしく申し上げます。

最後に、理事会報告をさせていただきます。

議件事項

①和歌山RC創立75周年記念式典参加の件（報告）

4月28日（土）ホテルグランヴィア和歌山にて開催の案内状が、会長・幹事宛に届き、出席で提出。祝い金5万円を慶弔費より支出。

②地区大会出席の件（審議）

現在11名の出席者あり。分乗して参加するにあたり、もう一度参加者を募る。

③I.M第3組親睦ゴルフ大会会費の件（審議）

従来どおり外部会議費より支出する事で、決定。

④米山記念奨学生世話クラブ依頼の件（審議）

次年度理事役員予定者会議では引き受ける方向。今年度でも審議の結果引き受ける事で承認。

⑤济州日出RC訪問の件（報告）

大野会員より济州日出RC創立8周年記念例会参加の報告及び支出の報告あり。明細に関しては後日議事録に添付することで承認。

以上会長報告とさせていただきます。ありがとうございました。

● 幹事報告



幹事 小形みちる

前回のワンワン募金額は11,711円でした。ご協力有難うございます。本日は、月初めの東日本大震災義援支援助金の募金をお願い致します。また、台風12号被害を受けた新宮RCより「熊野地方を襲った台風12号災害記録」の冊子が届きましたので回覧します。3月の識字率向上月間に伴い、地区より識字率向上運動としまして書き損じの葉書や、未使用切手のご協力をお願い致します。詳しくは委員会より後日ファックスをさせていただきますので、よろしくお願い致します。それと、地区大会の参加人数が少ないので、ご都合つく方がいらっしゃいましたら参加していただきますよう、よろしくお願い致します。2～3日中にお申し出下さい。

● 委員会報告

◎親睦活動委員会

當仲清孝会員



本日ボックスに3月26日（月）開催のアゼリア会の案内を入れております。場所はダイワロイネットホテル、時間は18:30からですのでお間違えのないようお願い致します。

委員会別のカラオケ大会を企画しております。奮っ

てご参加下さい。

出欠のお返事は15日まで、アゼリア事務局にお願い致します。

◎社会奉仕委員会

白神修次会員



日本ライトハウスより、「第30回日本ライトハウスチャリティコンサート」のお便りが届いております。

詳しくは冊子を回覧しますので、興味のある方はご参加下さい。

日時：2012年4月14日（土）開場17:30 開演18:30
入場料：3,500円（当日指定）

会場：ザ・シンフォニーホール（大阪市北区）

チケット申し込み：日本ライトハウスチャリティコンサート係（TEL 06-6968-1030）

◎アウトドア同好会

山田 茂会員



2月23日に、今後のアウトドア同好会事業計画にあたり、総会を開催致しました。

まず、春の行き先についてですが、5月12日（土）～13日（日）に、支援の意味合いも込めて、台風の災害もありました紀南方面の泊旅行に概ね決定いたしました。

ハイキングを兼ねて、皆さんが参加できるよう企画したいと思っております。行程、予算等詳しくは後日ご案内をさせていただきます。

また、今後の方針としましては、クラブの親睦事業や、他委員会事業と交流を深めながら、計画をして行きたいと思っております。

● お誕生祝い

西出 隆一会員 3月 3日

貴志 孝生会員 3月13日

當仲 清孝会員 3月17日

川野富喜子会員 3月29日

お誕生日おめでとうございます。



「災害復旧に参加してみて」



社会奉仕委員会 三木民生会員

①東北大震災

4月30日に仙台市に入り、5月3日まで岩沼市（仙台市よりJRで

南20分）に、ボランティアとして復旧活動に参加致しました。まず、岩沼市を選んだのは県外の個人のボランティアを受け入れているのは、本市だけだったことによります。

岩沼市は南北に仙台空港に通じる高速道路が走っており、内陸側と海側とでは、被害の程度には大きな差がありました。海側は完全に破壊されているが、内陸側は河川の橋梁部分で津波が押し寄せられている程度で、元の姿は想像できる状況でした。

4月30日、午後岩沼市に入り、市役所付近で片付けをしている人の中に入れてもらい、瓦礫の撤去作業を2.5時間程させていただきました。

ボランティアとしての本番は5月1日からです。朝7時10分頃集合場所である岩沼市社会福祉協議会に到着すると、既に250人程の列ができており、8時の受付開始の頃には、700人程に膨れあがっておりました。

ここで社協がとった対応は「午前中は先の250人、午後は次の250人をお願いします。残りの200人は今日の作業はありません。」というもの。

ここに参加している若者は長靴、カッパ、ヘルメット、左手にバケツ、右手にスコップ、そして背中にリュックサックと完全武装です。たのもしい限りです。

これを、200人も作業なしで帰らせるとは・・・というのも前日までのマスコミには、連休中のボランティアが急増すると、さかんに触れられていたのにと、残念で仕方ありませんでした。

社協職員が同行しなくても、手配だけでもできなかったのか。ボランティアは本来、社協に組み込まれるものでなく、自由な活動であるべきを思うと、何か方法があったと思わざるを得ないのです。私はこの日、午後の作業でしたので午前中は社協事務所で待機です。そこで、その辺のことを聞いてみると、前向きな様子はみとれません。非常事態であれば仕方なしと思うしかありませんでした。

午後の私達の作業は、農業用水路の清掃である。

堆積した砂を取り出すというものです。半分水でするので、重たいのなんのって、重労働でした。ただし、この砂は津波によって堆積したものではありません。以前からここにあったものです。

5月2日には比較的軽作業で終わりましたので、午後から石巻に行きました。仙台駅よりバスで約2時間で石巻です。交通機関は全てここまで。タクシーの運転手さんをお願いし、女川まで行っていただきました。

この運転手さんも被害者で、家は半壊との事でした。この運転手さんが言うには、「津波とは、海面が30cm上ること、大津波とは海面が50cm上ること。ここら辺の者は10m以上の津波など考えたこともない」とのこと。

又、「各家庭には携帯の無線機を持たされており、性能が良くないので何を言っているのかよくわからないが、大き目の津波（海面が50cm上ること）でもくるのか、ガーピーガーピー鳴っていたよ。」とも言っていた。

これでは、あれ程の大災害になっても致し方ないなと思いました。

女川往復の車窓の景色は想像を絶するものでした。岩沼の被害とは比較にならないものでした。大木の10mぐらいの高さの所に、そして4階建のビルの屋上に壊れた車が鎮座しているのです。

なかなか現実に戻ることは出来ませんでした。しかし、荒れ狂った状況の中で、万石浦だけは穏やかな海のみまだだったのです。太平洋に接する処から、海峡を1kmほど北上したところに、橋があり、そこから奥に万石浦があります。

東北地方では、カキの種つけをするところとしてよく知られている様です。この万石浦が津波の被害を受けなかったのです。理由は押し寄せてきた瓦礫が、入り口の橋に引っかかり、壁を作ってしまったのです。運転手さんのお話では、橋の高さは海面から4mないよとも言っておりました。この橋の低さが高を奏したのです。

最後の日の早朝、私は仙台市折立地区の団地の宅地崩壊現場をたずねました。公社が建てた4階建の住宅の付近には、一戸建て住宅があり、40戸程でしょうか、陥没した敷地の上で横転しておりました。その多くが切り盛り境界部といわれる所に建っていました。

造成の際、山の部分を切り（切り取り）その土で谷を埋めて（盛工）、平らにするが、その境界部

が軟弱地盤で、地震が起きると、沈下して段差が
できたりする様です。

この被害を受けない様にするには、杭を利用する
方法がある様です。

この震災後、関東エリアで、宅地の点検が必要と
思われる所に赤い印をつけていくと、地図が真っ
赤になってしまったということを知りました。

午後、仙台を離れましたが、震災の教訓は釜石小
学校の300人の生徒の行動にあらうと思います。
数年前より教えられていた「自らの命は自ら守る」
の言葉通り、津波の警報に皆が高い山に向って一
斉に走り、30分後、山の高台に到着と同時に津波
は釜石港を突破したのです。全員無事であるとい
うとは、奇跡ともいえるものです。

②12号台風～熊野川水系～

台風12号は紀伊半島に記録的な大雨をもたらしま
した。特に上北山村では72時間雨量が1652.5mmと、
これまでの国内観測記録である1322mm（宮崎県）
を大幅に上回る程のものでした。

また、一部の地域では、解析雨量で2000mmを超え
るなどの、記録もありました。

熊野川水系で特に問題になったのは、水系にある
11のダムがほぼ同時に放流したことにあります。
水系のダムは全て発電用のダムであるため、雨量
を予測して、事前放流ができないと説明があった
様です。

今回の災害は、通常の災害に加え、本流の熊野川
の水位が高く、本来は本流に流れ込む支流が流れ
込めず、合流付近で渦を巻いて、災害を広げたも
のです。

本宮大社裏を流れる音無川、川湯温泉前の大塔川
いずれも、合流地点の災害が大きくなりました。
私は、9月11日に本宮町に入り、泥だしの手伝い
を、2件の知人宅でさせていただきました。

③12号台風～日高川水系～

昭和28年の主に有田川・日高川での大水害以来の
ものです。今回の災害で、私のふる里が大きな損
壊を被りました。

そこで、ふる里を同じくする仲間に連絡を取り、
和歌山より4名、ふる里寒川より1名の参加で、
地区集会所の泥出しをさせていただきました。

15坪程の小さな建物でしたが、5人掛りで本当に
きれいになりました。この時、力を発揮したのが

高圧洗浄器です。板壁などは新品になります。区
長さんも災害前よりきれいになったと喜んでくれ
ておりました。

私にとり、気心が知れた者同志であったことでも
あり、疲労というより、心地よさの感じる活動で
ありました。

④活動を振りかえってみて

東北大震災では、完全武装の若者の雄々しさに感
動を覚えたが、このボランティアを受け入れる側
の公共団体の姿勢に改善の余地があると思いま
した。というもボランティア参加者のケガが気がかり
で踏み込めないのでは、被害者は救われません。
非常事態であることを割り引いても検証してみる
べきと考えます。

とは言え、受け入れ側には、全国から多くの地方
公務員公共団体職員が参加協力してくれており、
この経験は今後の災害対策に生かされるものと確
信いたしました。

S・A・A 報告 【3つの箱】

*ニコニコ箱

西出隆一会員 お誕生のお祝いをして頂き、有難う
ございます。3月3日で51歳になりました。これか
ら、よろしくお願い致します。

菅仲清孝会員 お誕生日お祝い有難うございます。
満5歳になりました。

西田美恵子会員 桜の花が待ちどおしです。

澤本栄子会員 紅白の梅の花も満開で、春の訪れを
待ちつつ、年度変りに毎回追われる昨今です。

白神修次会員 土曜日、丸一日かけてメディアユニ
バーサルデザインの講習会と、それに関する試験を
受けてきました。試験を受けた中では最高齢の様で
した。還暦になっても頑張ってます。

後和信英会員 本日の社会奉仕のフォーラムよろし
くお願いします。

小形みちるの会員 今日お誕生日の川野会員、貴志会
員、菅仲会員、西出会員おめでとうございます。

本日合計額 38,000円 今年度累計額 971,000円

*ロータリー財団

澤本栄子会員 後和信英会員

本日合計額 6,000円

*米山奨学

澤本栄子会員 後和信英会員

本日合計額 5,000円